



# くじらのつばやき



令和4年 9月12日 中央小学校 学校だより No.10

25分休みや昼休みには運動場から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。9月初旬、まだ暑い日は多いですが、2学期は「実りの秋」。作品展、運動会、秋風音楽会、各学年の行事、スマイル班での活動、みてみて集会？などの行事は、日ごろの学習成果や子どもの成長を確かめられるときです。

また、本校では子どもたちの将来につながる能力の確実な定着を重視しています。論理的思考力を高める授業づくり、読む・話す・伝える力の育成などにICTも効果的に活用しながら取り組んでいきます。本校の全児童にとって令和4年の2学期が「実り多い秋」となるよう、一人ひとりの子どもの着実な学習の積み重ねと豊かな人間関係の育成に努めてまいります。

2学期の学校生活を通し、これまで以上に子どもたちを見守り、子どもたちの成長をみていただきたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

## れいわ ねんど だい かいひ なんくんれん 令和4年度 第2回避難訓練



9月1日は防災の日、9月1日を含む8月30日～9月5日までが防災週間とされています。本校では、9月5日（月）に地震と津波を想定した避難訓練を実施しました。

地震の想定 : 震度4～5強の地震発生  
地震発生後、津波警報発令



大きな揺れがおさまった（想定）後、防災頭巾をかぶり、運動場に避難しました。2回目の避難訓練ということもあって、低学年の子どもたちも1回目（4月の避難訓練）より落ち着いて行動できていました。全校児童の避難が確認されるまで3分40秒でした。校舎内から運動場への避難完了後、津波警報が発令されたという想定で、屋上に避難しました。子どもたちは落ち着いて「お（おさない）・は（はしらない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）」を守って避難することができました。1年生の子どもたちは、屋上への避難は初めてでしたが、6年生といっしょだったので心強かったようです。運動場から屋上への避難完了まで4分35秒でした。

東日本大震災では「どうすれば災害から身を守ることができるのかを知っている」ことが、「自分で自分の命を守る」ことにつながりました。知識・判断力・行動力が必要です。

三重県では「防災ノート」を使って、これらの力をつけるための学習をしています。小学校では低学年用と高学年用にわかれており、各発達段階に応じた学習ができるようになっています。防災ノートは、学校で大地震が起こった想定以外にも多くの例がイラストといっしょに示され、考えるように編集されています。たとえば・・・

👉 帰り道や外出中に地震が起こったら、どんな危険なことが起こるでしょうか？どうしたら身を守ることができるでしょうか？

👉 家の中で地震が起こったら、どんな危険なことが起こるでしょうか？どうしたら身を守ることができるでしょうか？

👉 竜巻が近づいてきたら、どのように身を守ればよいでしょうか？突然の大雨におそわれたら、どのように身を守ればよいでしょうか？

ご家庭でも、ぜひ子どもたちと話をしていただき、いっしょに考えていただきたいと思います。

2022年中央小学校の運動会のスローガンは「全力でやりきり 全力で楽しもう」です。このスローガンは代表委員会の子どもたちが考えてくれました。(今後、運動場から見える理科室の窓に、各学年で分担して作ったスローガンが貼る予定です) このスローガンのもと、9月23日の運動会まで中央小学校全員で、準備、練習、競技などに取り組みたいと思います。

【1年生】

【2年生】



低学年部の表現は、今、1年生・2年生がそれぞれで練習しています(9月9日現在)。来週から、いっしょに練習するそうです。どの子も、身体全体を使って、愉しそうに踊っています。合同練習が始まったら、ますますパワーアップしそうですね。

【中学年部】



ダンスのパート練習です。3年生・4年生が数名ずつで合同グループを作り、異なる振り付けで練習しています。本番は、それぞれのグループの振り付けがひとつになります。4年生が3年生をしっかりリードしてくれていました。さてさて、どんなダンスに仕上がるのか楽しみです。

【高学年部】



高学年部の表現活動は、銀河鉄道の旅にできるようです。全体の振り付けと、自分たちのグループで考える振り付けがあります。どのグループも、愉しそうに振り付けを考えていました。みんな一人ひとり異なる感性をもっています。それぞれのグループの個性が表現されるといいですね。